

園名：社会福祉法人たつの子の会
羽村しらうめ保育園
活動日時：令和7年3月25日 晴
午前中

クラス名：うさぎ組（2歳児クラス）
年間テーマ：砂水遊び

＜テーマの設定理由＞

大人と一緒にシャベルを使って遊ぶことが増えてきた。一緒に山を掘る中で、大人が設定を作っていく。視覚的にも“楽しそう”とを感じるものを作り、動きを引き出していく。砂山を変化させていきながら設定を楽しめるように環境を工夫していく。

＜活動スケジュール＞

1年を通して砂水遊びを継続的に取り組んでいる。
後期に入り砂＋道具を使って山を作ることも楽しむようになり、この日は2オクラスだけの空間で道具を使って活動を行う。

＜環境をデザインする・探求活動の実践＞

子どもたちが園庭に出る前に大人が山の周りに穴を掘り、迷路のようにする。
子どもたちが園庭に出ると「ドーナツみたい」「迷路だ」と言って穴の中に入り走り回る姿があった。
その後、「もっと深くしたらプールみたいになるよ」と言う子がいたので、子どもたちもシャベルを持ち、一緒に穴を掘っていく。真ん中に大きい山が出来ると「ふかふかで気持ちいいよ」と手で砂を触ったり、ジャンプして楽しむ子がいた。山が崩れることに怒り、バケツに水を汲み、山にかけて砂を固めようとする子もいた。水をかけると「シャリシャリしてる」と砂の感触の違いに気が付く子がいた。

大人も一緒になって砂の感触を楽しんだ後、子どもたちが好きな遊びを始めたので、砂山に設定遊びを作る。板をかけて急斜面を作ると、立位で慎重に渡っていたり、ハイハイで渡っていく子がいた。斜面のところに列ができていたので、タイヤを置いてもう一方向から登る設定を作る。足を引っかけ高這いで登っていた。山の上から「やっほー」と遠い所にいる友だちに声を掛けていたことで「なにしてるの?」と他の子も興味を持ち、設定で体を動かしていた。
気温が高かったので、水遊びも一緒に行い、全身で感触遊びを楽しめるようにしていった。

＜活動のために準備した素材や道具＞

砂・水・スコップ・バケツ・板 等



＜振り返り＞

- ・大人がある程度、砂山を作っていたことで、子どもたちの興味が砂山にいき、全体的に体を動かして遊んでいた。
- ・気温が高かったので、シャベルを使用している時間が短く、すぐに疲れている姿があった。水遊びと一緒に行うことで、子どもたちの動きもよくなり、楽しみながら砂山で遊ぶことが出来ていた。
- ・始めはプールを作ろうと話していたが、子どもたちの姿から設定遊びに変えていった。設定では、足の裏を使ってタイヤから登っていったり、急斜面を慎重に上っていく姿が見られた。感触遊びを楽しみながらねらいを持った設定で体の使い方を身につけていく。